



速に拡大し、四月七日（火）に福岡県をはじめ、九都府県に『緊急事態宣言』が発表されました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用と手指の消毒、部屋の換気を徹底して行なわれました。

このヒアリングは障害者小規模共同作業所助成金等の実績報告と交付申請書を提出するものです。

十月二十二日（木）十時より北九州市役所十五階十五B会議室にて、小倉事業所と八幡事業所の北九州市障害者小規模共同作業所のヒアリングがありました。

北九州市障害者小規模共同作業所のヒアリングが無事に終了しました

手指消毒等を徹底

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用と手指の消毒、部屋の換気を徹底して行なわれました。

本来ならば、四月十六日（木）に行なわれ、令和元年七月から翌年三月（九ヶ月分）までの実績報告と令和二年度交付申請書を提出する予定でした。

しかし、新型コロナウイルスの感染が、都市部で急速に拡大し、四月七日（火）に福岡県をはじめ、九都府県に『緊急事態宣言』が発表されました。

そのため、ヒアリングが中止となり書類を郵送で提出しました。

現在、新型コロナウイルスの感染拡大がおちついているので、改めてヒアリングが実施されることとなりました。

担当は、前回と同じく、保健福祉局障害福祉部障害者就労支援室の吉野匡貴主任にヒアリングをしていただきました。

初めに、新型コロナウイルスによる作業所の活動状況を確認するため、令和二年四月から九月（六ヶ月分）までの実績確認書と出勤簿



高齢者 インフルエンザ

予防接種のお知らせ（北九州市）

接種期間

令和2年10月1日（木）

令和3年3月31日（水）

流行時期（12月～3月）に備えてできるだけ早めにご予約のうえ

10月26日（月）までに

接種しましょう

接種対象者

- ①市内に住む65歳以上の方
- ②市内にお住まいの60歳以上65歳未満の方で、心臓・腎臓もしくは呼吸器の機能または免疫不全ウイルスによる免疫の障害による身体障害者手帳1級を所持している方または同程度の方



接種場所 予防接種実施医療機関

自己負担額 **無料**

接種回数 上記接種期間において**1回**

等の確認をしていただきました。

続いて、令和元年七月から翌年三月（九ヶ月分）ま

ウイズコロナ時代に迎えるインフルエンザシーズンはどうなる？

例年、十二月頃からインフルエンザの流行シーズンを迎えます。

新型コロナウイルス感染症が流行している状況下でのインフルエンザシーズンはどうなるのでしょうか？

また、私たちがすべきことは何でしょうか？

インフルエンザが両方流行る？

インフルエンザは例年十二月から三月頃に流行します。新型コロナウイルスについては現在、季節性の流行は確認さ

での元帳と領収証を確認していただきました。

両事業所とも無事にヒアリングは終了しました。

新型コロナ、かぜ、インフルエンザの症状の違い

症状	新型コロナ 軽症～重症まで幅広い 季節性は不明	かぜ 緩徐に発症 年中みられる だらだら続く	インフルエンザ 突然の発症 冬に多い 通常5～7日で軽快
発熱	平熱～高熱	平熱～微熱	高熱
咳	○	○	○
咽頭痛	○	○	○
息切れ	○	×	×
だるさ	○	○	○
関節痛 筋肉痛	○	×	○
頭痛	○	○	○
鼻水	△	○	○
下痢	△	×	○ 特に小児で多い
くしゃみ	×	○	×

新型コロナウイルスとインフルエンザよく似ている

インフルエンザの症状は

「暑くて湿度が高い環境」よりも「寒くて湿度が低い環境」の方が伝播しやすいという報告もあり、夏よりも冬に流行しやすい可能性があります。つまりこの冬はインフルエンザと新型コロナウイルスが同時に流行する可能性があります。

（裏面へつづく）

両方とも感染症であり、発症初期には、ほとんど区別が付きません。

左の図のように咳や咽頭痛、頭痛などだけでは、この2つの感染症を区別することは実際には難しいことが多いです。





新型コロナウイルスとインフルエンザの感染経路は

飛沫が主であることが共通

（表面よりつづき）
新型コロナウイルスと
インフルエンザの違い

症状はよく似ていますが、それ以外についてはどうでしょう。

まず、感染経路はどちらも飛沫が主であることが共通しています。

重症化しやすい人も、高齢者や基礎疾患のある方というところは共通していますが、インフルエンザでは二歳未満の小児もハイリスクとされます。

潜伏期は、インフルエンザが一〜四日、新型コロナウイルス

	インフルエンザ	新型コロナ
感染経路	飛沫	飛沫 (接触、エアロゾル感染も)
基本再生産数	1.4~4	1.4~6.6
感染性のピーク	発症後	発症前
潜伏期	1~4日 (中央値2日)	2~14日 (中央値5日)
重症化リスク因子	65歳以上の高齢者、2歳未満の小児、免疫不全者、妊婦、肥満、慢性呼吸器疾患、慢性腎疾患など	高齢者、男性、肥満、高血圧、慢性呼吸器疾患、心疾患、2型糖尿病、がん、慢性腎疾患など
致死率	0.01~0.1%	3-5%
症状の持続期間	3-7日	2~3週
ワクチン	承認済み	未承認
診断	抗原検査	PCR検査、抗原検査、抗体検査
抗ウイルス薬	オセルタミビル (タミフル)、パロキサビル マルボキシル (ゾフルーザ) など	レムデシビル (ベルクリー)

が二〜十四日であり、症状の持続期間も典型的にはインフルエンザでは一週間程度で改善するのに対し、新型コロナウイルスでは二〜三週間に及ぶことがあります。

また、新型コロナウイルスでは、発症する前にも他の人に感染してしまうことがあり、これは発症後に感染性のピークがあるインフルエンザとの大きな違いです。

インフルエンザワクチンの接種はコロナにもよい影響を

与えるかもしれない

例年インフルエンザ流行前に、特にハイリスクの方

はインフルエンザワクチンを接種することが推奨されています。

インフルエンザワクチンは、もしかしたらですが、新型コロナウイルスにも良い影響があるかもしれないという研究も出てきています。

原因についてはまだ明らかではありませんが、『BCGワクチンが新型コロナウイルスに有効かもしれない』という話と同様に、インフルエンザワクチンが免疫そのものを強化する作用があるのかもしれないません。

もちろんインフルエンザワクチンを接種することで、インフルエンザの流行を抑えることが期待されますので、そういう意味でもインフルエンザワクチンの接種は推奨されます。

インフルエンザは冬に流行するのか？

これまでのインフルエンザシーズンのように、今年の冬もインフルエンザは流行するのでしょうか？

ウイズコロナ時代には、インフルエンザは過去のようには流行らない可能性も指摘されています。

新型コロナウイルスとインフルエンザはどちらも呼吸器感染症であり、症状がよく似て

います。発熱、頭痛、筋肉痛、咳といった症状はどちらでも見られます。

一方、息切れ、臭覚・味覚障害という症状は新型コロナウイルスに特徴的と言えますが、必ずみられる症状というわけではないため、症状だけでこの2つの感染症を区別することは実際には難しい

せっけんでよ〜く てをあらおう!!



みんなのゆびのきつちよとゆびのすきま、
あと、おやゆびのまわりとてのこうがたいすきま!
そこからみんなのおめやおくちにジャンプしたいな!!
でもせっけんでよ〜くをあらわれちゅうときえちゅうんだ!

ことが多いです。

昨シーズンは、実際の症例数で見ても明らかに例年よりも少ないことがわかりました。

これは、新型コロナウイルスの感染対策を徹底することによって本来流行していたはずのインフルエンザも減ったのではないかと考えられています。

また現在、インフルエンザの流行シーズンを迎えているはずの南半球でも驚くほどインフルエンザの症例数は少ないようです。

やるべきことは

大きく変わらない

ウイズコロナ時代のインフルエンザについては、結局のところ私たちがすべきことはインフルエンザワクチン接種と、手洗い、屋内

でのマスク着用、咳エチケット、というシンプルなものであり、これまでのインフルエンザ対策に、新しい生活様式としてのマスク着用などが加わっただけです。



インフルエンザが実際に流行るかどうかは分かりませんが、過度な安心はせず、各自が感染対策を徹底することが流行の抑制に繋がります。

特にハイリスクの方は今年はずいぶんインフルエンザワクチンを接種するようにしましょう!

感染症専門医

忽那 賢志氏
(インターネットより参照)